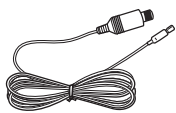


品名 : アンテナ変換ケーブル
コードの長さ : 1.4 m

※本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
※本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
※イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。



取扱説明書 アンテナ変換ケーブル

品番 : **CA-PANX2D**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書およびカーナビゲーションの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 取り付けの前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この説明書は大切に保管してください。

適合機種: (2011年6月現在)

- ポータブルカーナビゲーション

CN-GP600FVD/GPA600FVD/SP605FVL

CN-GP700FVD/SP707FVL

詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

アンテナ変換ケーブル



数量 : 1

取扱説明書(本書)




数量 : 1

接続についての不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

パナソニック株式会社 オートモーティブシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

お客様相談センター

- フリーダイヤル  0120-50-8729
受付 9:00~18:30/365日
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記電話番号がご利用いただけない場合 **0857-30-4578**

※通話料は、お客様のご負担となります。

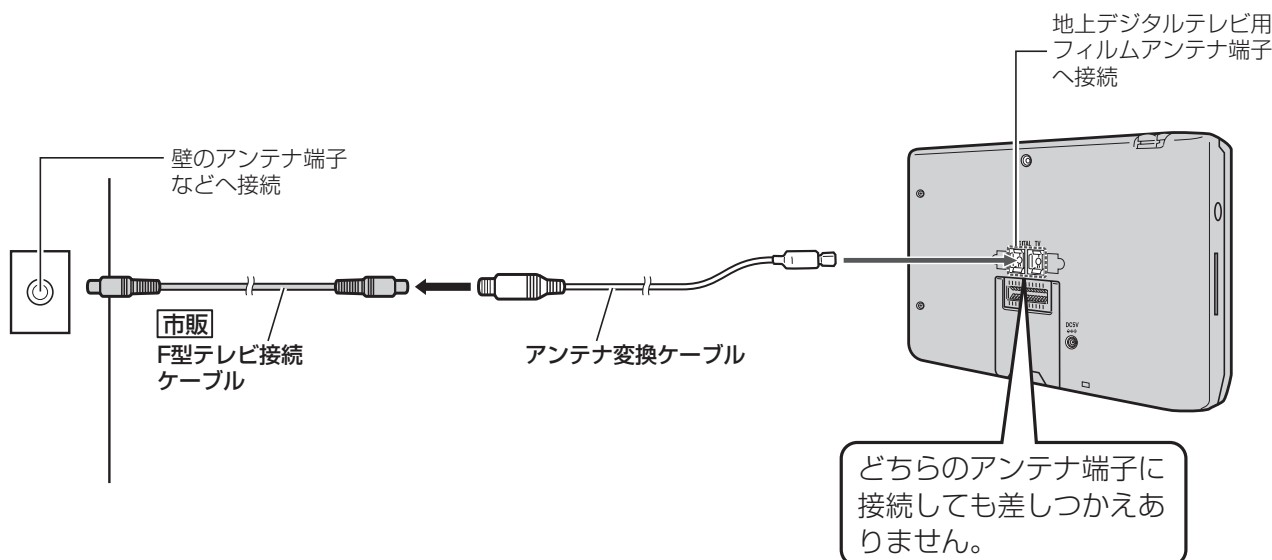
- F A X* 045-938-1573
受付 9:00~18:30(土・日・祝日・当社休日を除く)
※通話料は、お客様のご負担となります。

© Panasonic Corporation 2011
Printed in Japan

2RR6P10A99900 S0511-0

アンテナ変換ケーブルの使用方法

アンテナ変換ケーブルと市販のF型テレビ接続ケーブルを接続すると、ご家庭でテレビの映像を見ることができます。



お知らせ

アンテナ変換ケーブルと市販のF型テレビ接続ケーブルを接続しても、ケーブルテレビ局など、地上デジタルテレビ放送がポータブルカーナビゲーションで受信できないチャンネルで送信されている場合は、視聴できないことがあります。

※イラストは接続例です。

ご使用のポータブルカーナビゲーション本体の地上デジタルテレビ用フィルムアンテナ端子へ接続してください。

お手入れについて

ケーブルの接続部やプラグ部が汚れた場合は、乾いたやわらかいきれいな布などで拭きとってください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。


危険 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。


注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)


 してはいけない内容です。


 実行しなければならない内容です。

危険

 **当社指定のカーナビゲーション以外には使用しない**
指定以外の機器に使用すると、火災や感電、故障、機器の内蔵電池の発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

 **ケーブルの接続部やプラグ部に付いたほこりや汚れを取り除き、根元まで確実に差し込む**
感電や発熱による火災の原因になります。
● ときどき乾いた布でふき、ほこりや汚れを取り除いてください。

 **故障や異常な状態のまま使用しない**
異物が入った、水がかかった、煙が出る、異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因になります。

コードを破損しない


断線やショートによる火災や感電、故障の原因になります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づけないでください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

 **ぬれた手で抜き差しはしない**
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

注意

 **上に重いものを載せたり、乗ったりしない**
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因になります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所で使用しない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因になります。

著しく温度が高くなる場所*に置かない
直射日光のあたるところ、アイロンや暖房器具の近くなどにおくと、故障や火災の原因になることがあります。